

湖西市学校再編基本計画【北部地区】（案）のパブリックコメント応募意見と市の考え方

募 集 期 間 令和7年1月6日(月)～令和7年2月4日(火)

意 見 提 出 者 15人

※意見の内容については、原文のまま掲載しています。また、同様のご意見はまとめております。

No.	ページ	項目	ご意見	ご意見に対する市の考え方	計画修正
1	P3	その他	表は中学校についてしかありません。本市における小規模小学校の望ましい教育環境はどうなりますか？資料編2には、小中学校で1学年2学級以上、できれば3学級が必要とされています。	本計画P3の表については、「本市における小中学校の望ましい教育環境」と記載すべきところを「本市における小規模中学校の望ましい教育環境」と記載していることから、「小中学校」に修正をさせていただきます。資料編2にも記載しているとおり、小学校についても「1学年2学級以上、できれば3学級」が望ましい教育環境としております。	有
2	P7	その他	7P下段の表の②子どもの通学に係る負担、リスクの軽減について、右段「比較的歩いて通える子も多く」とは、全体の何割になりますか？数値で根拠説明をお願いします。	「小学校は3km以上の場合をバス通学」として対象となる児童生徒数（令和10年度の推定人数）によると、A案の場合は対象となる小学生は22人で全体の約1割となりますが、小学校から大規模校（岡崎小学校・鷺津小学校）に通う場合は、全体の約9割がバス通学の対象となる見込みです。	無
3	P8	今後の検討事項	<p>「⑥バス通学・自転車通学対象児童生徒数の算出」は「通学方法の検討および検証」とすべきと思います。</p> <p>地域住民意見交換会（令和6年11月16日開催）では、「天浜線の活用」が提案されています。これを含めた通学方法の検討が必要ではないでしょうか。また、それぞれの通学方法に対する検証が不可欠です。検証は改善を進める上で必須なことですし、さらに意見交換会の要望でも有ります。</p> <p>検証結果として、それぞれの「通学方法に対する通学時間」を明示して下さい。通学方法については、距離というより通学時間が問題ではないでしょうか。従来の延長線で通学方法を設定するのではなく、湖西市が「職住近接」を掲げていることを踏まえ、通学時間短縮の観点から設定をして頂きたいのです。</p> <p>さらに「通学における安全対策の検討および実施」の項目を加えて下さい。</p> <p>統合までに基本的な通学路を整備して、通学における安全の確保をして頂きたいのです。</p>	8ページに記載している内容は、本計画を策定するために既に実施した検討項目となります。通学方法につきましては、本計画が策定された後に具体的な検討を行うこととなります。児童生徒の安全面や通学時間も含めた通学に係る負担も考慮し、スクールバスや既存のコーちゃんバスのほか「天浜線の活用」など最適な交通手段を検討してまいります。また、「通学における安全対策の検討及び実施」というご意見につきましても、29ページの「今後の検討事項」に記載しているとおり、今後、通学路の安全対策について、道路管理者や警察などの関係機関と連携して通学路の安全確保の検討を行ってまいります。	無

No.	ページ	項目	ご意見	ご意見に対する市の考え方	計画修正
4	P8	今後の検討事項	<p>「北部地区の小中学校における今後の課題と対策」の項目を末尾に加えて頂きたい。</p> <p>北部地区の小中学校の統合によって、この地区の児童・生徒数の大幅な減少に歯止めがかかるわけではありません。むしろ減少を加速させる、と言っても過言ではないと思います。</p> <p>計画案の「中学校生徒数の推計」では、令和18年度は令和10年度と比較し、「およそ半減」になっています。</p> <p>地域を守っていく後継者がいなくなることは、地域の荒廃に繋がります。これでよいのでしょうか。</p> <p>ですから、この北部地区に将来的にも「小学校は存続」させたいのです。「存続させるための施策」を市政に求めたいと思います。</p>	<p>8ページに記載している内容は、本計画を策定するために既に実施した検討項目であります。ご指摘いただいているとおり、小中学校の統合によって、児童生徒数の減少に歯止めがかかるものではありません。</p> <p>市としては「魅力的な湖西市を子どもたちへ」というキャッチフレーズのもと、人口減少対策にも取り組んでまいります。</p>	無
5	P20	子育て世代アンケート	<p>アンケートの方法に「回答は各世帯1回答とし、お子様と相談し回答していただくよう」とありますが、どれだけの保護者が子どもの意見を聴いて回答しているか疑問ですし、保護者の顔を窺った回答になる可能性が高い事、そしてアンケートでは自分たちの意見を聴いてもらったという納得性はかなり低いと思います。子どもにとって例え自分の意見の通りにならなくても、自分たちも自分たちの学校に関する事の話し合いに参加できたという納得感が必要だと思います。この学校再編成の決め方は『子ども真ん中社会』には則していないと思います。</p>	<p>どれだけの保護者の方がお子さんと一緒に考え、回答していただいたのかということを確認することはできませんが、アンケートにおいてはA案、B案、代替案を選択した理由を多くの方に記載していただいております。その内容につきましては、市のウェブサイトからご確認くださいですが、いずれもお子さんの教育環境のことをお考えになった上でのご意見であると思います。アンケートの自由記述には「子どもの負担が少ないように」「子供たちの事を第一に考え、より良い学校再編をして欲しい。」というご意見もいただいているところであります。本計画に基づき学校再編を進める際は、保護者や地域住民だけではなく対象となる児童生徒に対しましても丁寧な説明を行っていきたいと考えています。</p>	無

No.	ページ	項目	ご意見	ご意見に対する市の考え方	計画修正
6	P28	再編スケジュール	<p>●学校統合開始がR10年で示されていますが、R10年から同時に小学校、中学校の学校統合が開始される理由を教えてください。</p> <p>⇒小中学校の統合のタイミングをずらすことで複数の問題が解決できることが示されているように見受けられます。(以下)</p> <p>●スケジュールでは令和8年、9年度の湖西中学校在校生が仮校舎にしなければならない理由はありますか。</p> <p>⇒冒頭に、「子どもたちの健やかな成長を促すことができる環境の維持」を記載しているが、令和8年、令和9年の在校生は仮校舎で授業を行うこととなります。その間の中学3年生は、仮校舎のまま卒業を迎えることとなります。</p> <p>該当年度の子供たちにとって、学校統合と同時に、さらなる負担を与えることは可哀そうではありませんか。</p> <p>⇒解決方法の1案として、先に岡崎中学校への中学校統合を行い、湖西中学校を閉校してから小学校用の教室に改修を行えば、仮校舎建設の必要もなく生徒への施設による負担や、仮校舎の建設費用を無くすことが出来ると考えます。また、様々な準備期間も得られます。</p>	<p>知波田小学校においては、令和8年度から10人を下回る学年が出てくることから、可能な限り早い段階からの統合を目指しているところがあります。子育て世代を対象としたアンケートにおいても、該当する保護者の皆様の率直なご意見を伺いたく「最短で令和10年度に統合」というスケジュールを明記いたしました。ご指摘のとおり、子どもたちのよりよい教育環境という点につきましては、統合する子どもたちだけではなく、在校生にとっても非常に重要な観点であります。在校生にとって校舎等の改修の影響ができる限り少なくなよ改修内容やスケジュールについて、最大限考慮をしております。そうしたことから、本計画P28において、「仮設校舎の設置については、湖西中学校の設計業務を行う中で検討してまいります」と記載しているところがあります。</p>	無
7	P28	再編スケジュール	<p>●A案による中学校生徒数の推計で、R10年～R18年の間に、現状の岡崎中学校の教室数でも生徒人数が収まるように推計できます。</p> <p>⇒学校再編時期を数年遅らせれば、岡崎中学校の改修(教室増設)が必要なくなり、予算を数億円削減できるのではないのでしょうか。</p> <p>【R18年度の中学校生徒数推計】では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年最大4クラス×3学年=12クラス ・特別支援学級(現状)=4クラス ・合計=16クラス <p>となり、現状の岡崎中学校の教室数22クラス(20+2小教室)で十分収まる生徒数に推移していくと基本計画(案)内の生徒数推計から分かります。</p> <p>R10年～R18年の期間中に、岡崎中学校の教室増設無しでも収容可能な生徒数になると予測されている訳ですから、生徒人数の推移状況を見て統合タイミングを調整するという柔軟な基本計画スケジュールにすれば、A案14億円(概算)の改修費を大幅に削減できるのではないのでしょうか。スクールバス費用も10年間以上、捻出できると思います。</p>	<p>中学校の統合を遅らせた場合、小学校の統合も遅くなってしまいます。前述のとおり、知波田小学校においては、令和8年度から10人を下回る学年が出てくることから、可能な限り早い段階からの統合を目指しているところがあります。</p>	無
8	P28	再編スケジュール	<p>東小学校、知波田小学校、湖西中学校、岡崎中学校、の学校再編を同時に進めることと、それにプラスして白須賀中学校の再編を検討することを考えると、学校再編だけで、同時期に5校の学校再編を進めることとなります。</p> <p>丁寧な再編を進めるのは無理です。全体のスケジュール間を見直して、最善の学校再編計画を練り直した方がよいです。</p>	<p>北部地区につきましては、前述のとおり準備委員会を立ち上げ、丁寧な検討を行ってまいります。白須賀地区については、今後の小中学校の在り方について引き続き検討を行っていく予定です。</p>	無

No.	ページ	項目	ご意見	ご意見に対する市の考え方	計画修正
9	P30	跡地利用	<p>知波田小学校や東小学校の今後の校舎利用方法についてもパブリックコメントを実施してほしい。</p> <p><u>※同様のご意見をほかに7名の方からいただいております。</u></p>	<p>本計画P30にも記載していますが、学校再編に伴う学校の跡地についても、地域が活性化するような活用方法を検討してまいります。本計画が策定された後に学校再編に係る具体的な検討を進めていくようになりますが、保護者や地域住民の皆様にご丁寧な説明を行い、ご意見を伺いながら進めていくことが大切であると考えています。どのようにご意見を伺うかにつきましても、アンケートやパブリックコメントの実施も含め、今後検討を行ってまいります。</p>	無
10	P30	跡地利用	<p>統廃合後の校舎に関しての言及はされておりませんが、白須賀幼稚園の例などを考えると非常に不安です。子どもを含め、地域の方達の想い入れの深い校舎が利活用もされず、ただただ朽ちていくという事にくれぐれもならない様をお願いしたいです。</p>	<p>本計画が策定された後に学校再編に係る具体的な検討を進めていくようになります。学校の跡地についても、地域が活性化するような活用方法を検討してまいります。</p>	無
11	資料編-3	その他	<p>●「通学区域が旧の町村に基づいて設置されている。したがって通学区域を大きくしたり、小さくしたりすると行政区と通学区域の不一致が生じるため、保護者や地域の理解は、得られないと考える～」は、資料として添付する必要がありますか。</p> <p>⇒行政区を変更しない学校の統廃合は、最も行政区と通学区域の不一致を生みます。根拠資料としての論理が支離滅裂なので、基本計画からは削除すべきかと思えます。</p>	<p>本記述は令和4年3月にまとめた「湖西市立学校教育施設適正化検討委員会報告書」から一部抜粋したものであり、これまでの経緯のあくまでも参考資料として添付しているものであります。</p>	無
12	資料編-6	その他	<p>●「再編方針」ではA案が最も優れているとは記されていません。</p> <p>⇒最も優れているではなく、最も適していると記してあります。令和6年7月10日(水)～8月4日(日)に実施した保護者アンケートで、53、2%の方が【B案】、【代替案】を選んでいます。その方たちが、最も優れた案を選ばなかったと表現したい訳ではないと思いますので訂正願います。</p> <p>(以下、「再編方針」より抜粋)</p> <p>「上記の案を示して、アンケートを実施しました。アンケート結果からも、「小学校は湖西中学校を候補地として統合する」ことが、北部地区のこれからの子どもたちの教育環境として最も適していると考えます。」</p>	<p>再編方針からの転記誤りとなります。ご指摘いただいたとおり、再編方針においては「最も適している」と記載していることから、そのように修正させていただきます。</p>	有

No.	ページ	項目	ご意見	ご意見に対する市の考え方	計画修正
13	資料編 -12.15	バス通学 に関する 検討	利木地区のスクールバスの停車場が「きまま珈琲」となっているが、普段から交通量も多く、ましてや朝夕は特に出入が大変であると思われるが、どのような理由によりこの場所となったのか伺いたい。なお、利木集会場敷地内の方がよりスペースもあり、信号機もあることから、容易に出入りができると思われる。	資料編P10以降における「バス通学に関する検討」については、A案とB案を比較する上でバス通学や自転車通学の対象となる児童生徒数を試算するための検討資料であり、本計画において対象となる児童生徒、バス停の場所、ルートなどを決定するものではありません。利木地区については、道路沿いの「きまま珈琲」をバス停としてその周辺の児童生徒数を試算いたしましたが、ご指摘いただいたとおり、バスの停車が困難と思われまますので、資料編においても「利木集会所前」に修正させていただきます。なお、対象となる児童生徒、バス停、ルートにつきましては、本計画が策定された後に具体的な検討を行います。児童生徒の安全を最優先に考えてまいります。	有
14	資料編 -12.15	バス通学 に関する 検討	スクールバスの利木バス停留所が「きまま珈琲前」になっている。利木地区の午前6時から午前8時までの国道301号の交通量は、上り下り合わせて1,000台以上である。朝の交通ラッシュの時間帯は、その場所は新所の日ノ岡から横山までの3kmが渋滞する。そのため安全に乗車することが難しい。また、下校時はこの場所が直線道路のため、各自動車はスピードを出しやすい。下車するときに交通事故が起こりやすく安全とは考えにくい。今までも交通事故が何件か起きている。そこで、信号機で左折右折が容易にできる利木集会場前をバス停留所に変更すれば、保護者が自動車で送り迎えしやすく、広いスペースがあり、安心安全に乗降できると考えられる。 ※同様のご意見をほかに3名の方からいただいております。	同上	有
15	資料編 -12.15	バス通学 に関する 検討	利木地区のスクールバスの停留所が「きまま珈琲前」になっている。普段から国道301号線の交通量が多く、さらに朝夕は定期的に交通ラッシュにあるために「きまま珈琲前」の子どもたちの乗降はとでも危険である。そこで、利木集会場敷地内の方が広くスペースもあり、信号機も設置されているため、安全に左折右折が容易にできる。利木集会場前をバス停留所に変更すれば、保護者が自動車で送り迎えしやすく、安心安全に乗降できると考えられる。 ※同様のご意見をほかに3名の方からいただいております。	同上	有

No.	ページ	項目	ご意見	ご意見に対する市の考え方	計画修正
16		基本計画の構成	<p>●結論でA案に方向性を定めているので、冒頭にA案を進めると記載した方が分かり易いです。</p> <p>⇒再編スケジュール案(大日程)以外は学校再編検討委員会やアンケートで過日、調査、議論された内容であり、湖西市HP上でも議事録等を公開しています。基本計画(案)の中で、現在進行形で結論づける文章に違和感を覚えます。</p> <p>A案、B案、その他案を考察し、後半でようやく方向性をA案に結論づけるのが分かりづらいです。</p>	<p>今後、本計画の内容を簡潔にまとめた「概要版」を作成します。「概要版」においては、結論を分かりやすく記載する予定です。今回のパブリックコメントにおいては、計画策定の経緯や、検討の状況についてもご確認いただき、計画全般についてのご意見を伺いたいという考えに基づき、基本計画そのものを掲載しました。</p>	無
17		基本計画の策定方法	<p>●湖西市学校再編基本計画が担う計画の意味と、今後の流れが不明瞭です。</p> <p>⇒再編基本計画を作るためだけの手段、今までの経緯説明に終始しすぎていませんか。</p> <p>この基本計画(案)は、湖西市が目指したい子供たちへの教育目標を掲げ、それに見合う教育環境にするために、合理的で前向きな施設統合や教育環境のビジョンを示すことや、統合後の新しい環境で行える教育カリキュラム例などを提示することで、期待値が膨らむ計画書を担えるのではありませんか。計画書を作ることが目的化していませんか。</p> <p>⇒再編基本計画策定後に設置される準備委員会以降の流れを示した方が良いです。現時点の基本計画(案)では、今後やるべきことが、校舎改修、通学方法検討、交流事業の検討くらいしか分かりません。</p> <p>準備委員会の構成、決定事項の実行計画、実行手段、学校名称、統合先のカリキュラムの内容、廃校の活用方法、備品の整理、異なる地域や行事との関わり方など、その他にも沢山の検討事項があることでしょうか。少なくとも、準備委員会以降をどのように進めるのか基本計画段階でも記載すべきだと思います。</p> <p>⇒「基本計画」以降に「実行計画」等を策定しないのならば、例えば準備委員会を先に行い、細かい内容を網羅した「再編基本計画」を策定した方がより良い計画になると思います。</p> <p>準備委員会で保護者や地域のニーズを擦り合わせする前に「基本計画書」を策定するのは、手順が逆ではないでしょうか。意図せず計画が準備委員会の意思決定の阻害要因になる可能性もあります。「再編方針」を先に打ち出し、そこから議論が始まった過去の経緯から考えると同じ流れを踏襲しない方が良いと思います。</p>	<p>令和5年5月に策定した「湖西市立小中学校再編方針」では、中学校について「岡崎中学校に通う」のか、「小中一体型にする」のかについては、さらに検討が必要であるとしていました。この大きな方向性を決定するのが本計画であり、「岡崎中学校に通う」という結論とさせていただきました。</p> <p>「岡崎中学校に通う」という方針が定まったことにより、通学の安全確保や交通手段、交流事業などについてより具体的な検討を行うことができると考えています。</p> <p>「実行計画」の策定は予定していませんが、今後、小中学校の統合に向けた準備委員会を立ち上げ、具体的な検討を行ってまいります。準備委員会での検討状況については、随時、保護者や地域住民の皆様にご案内するとともに、これまで以上に丁寧な説明や意見交換を行うなどニーズの把握に努めてまいります。</p> <p>本計画では、詳細事項を定めているわけではありませんので、保護者や地域住民の皆様のご意見を伺いながら、子どもたちにとってよりよい教育環境となるよう再編の準備を進めていくことができると考えます。</p>	無

No.	ページ	項目	ご意見	ご意見に対する市の考え方	計画修正
18		再編計画の再考	<p>●「(手引きより抜粋)小・中学校は児童生徒の教育のための施設であるだけでなく、各地域のコミュニティの核としての性格を有することが多く、防災、保育、地域の交流の場等、様々な機能を併せ持っています。また、学校教育は地域の未来の担い手である子供たちを育む営みでもあり、まちづくりの在り方と密接不可分であるという性格も持っています。」</p> <p>⇒この観点で、すべて欠如した学校再編基本計画になっていませんか。子供たちが将来湖西市で暮らし、子育てしたいと思えるような再編基本計画に練り直すことを願います。</p>	<p>本計画にも記載しておりますが「小学校段階では、地域の自然・歴史・文化・産業等を北部の地域の方々から学び、豊かな体験を積み重ねることで、興味・関心の幅を広げていくことが大切である」という考えに基づき、小学校については湖西中学校を候補地として統合するという方針としました。現在も東小学校、知波田小学校においては地域の方々を支えていただいているため、再編後においても、これまでに以上に両地域の方々を支えていただけるような交流事業の検討を行っていく予定です。</p>	無
19		再編案(代替案の提示)	<p>A案の追加案として統合後、旧湖西中学校に岡崎中学校の分校(分教室)各学年1クラスを設置し、希望者は分校(分教室)に通学する。体育祭や文化祭、入学式や卒業式等の全体行事は岡崎中学校で行い、部活動は、岡崎中学校と旧湖西中学校の各部活動に適した場所で行う(柔道部存続可能)。中学校の分校(分教室)化により遠距離通学、学級数、多人数交流等の問題が解消され、A案とB案の両方のメリットを共し、デメリットをカバーできる。スクールバス運行は、北部地区と旧湖西中学校間、入出・新所地区と旧湖西中学校間、旧湖西中学校と岡崎中学校間の3路線とする。学校改修工事は、岡崎中学校、旧湖西中学校ともに必要最小限度とし工事費の縮小を図る。分校(分教室)化により、中学生と小学生の交流や自然環境を活用した特色ある学びを行うことができる。学校数は削減するので、教職員不足の解消及び効果的運用に繋がる。近距離通学希望者、少人数教室希望者、多学級多人数教室希望者など多種多様な学びが対応可能となる。中学生は、進級ごとに本校と分校(分教室)のクラス替えも可能となる。北部地区に小学校も中学校も存続し、地域交流や地域の活性化に繋がる。</p>	<p>中学校の分校の学級数につきましては、法令により1つの学校で2学級以下という制限があります。(学校教育法施行規則第79条)そのため、湖西中学校を分校とした場合は各学年に1クラスを設置することができません。進級ごとのクラス替えといったことも2学級以下という制限があることから希望に添えない可能性があります。また、希望者のみが通学するとした場合、現状の生徒数よりもさらに減少する可能性があります。適正な教育環境を維持することが難しくなると考えます。学校施設については、B案に近い改修内容となることから、改修箇所が多くなり、在校生の負担の増加や工事費も増額となる可能性があります。以上のことから、分校制度の導入は困難であると考えます。部活動や地域住民との交流については、今後丁寧に検討を行ってまいります。</p>	無
20		再編案(代替案の提示)	<p>小学校の効果・影響についてですが、本市における望ましい学級数に対してクリアできているのか、また、将来的というのは人口からみて数年後に起こり得る結果だと考えられます。また、小学校が北部地区に残ることで、地域とのつながりを確保するについては、東と知波田を残せばクリアできます。結果、小学校に関しては効果・影響はデメリットしか考えられないのですが、どのようにお考えでしょうか？</p> <p>中学校の統合については、湖西市立学校教育施設適正化検討委員会報告書から導き出した、本市におけるあり方に沿った内容であると理解しました。</p> <p>小学校に関しては、湖西市立学校教育施設適正化検討委員会報告書に沿って進められているのでしょうか。数年後には1クラスになってしまうことが分かりきっている現状で、統合する必要性がみえてきません。数年間のためだけの統合ですか？結果的に1クラスになってしまうのなら、現状に近い小学校に通うほうが安心ではないでしょうか。統合により、スクールバスなど利用して遠くの小学校(1クラス)であれば、大規模校(岡崎・鷺津)に行ったほうがよくないですか？小学校についての、期待される効果を今一度ご提示お願いいたします。</p>	<p>東小学校と知波田小学校を統合した場合であっても1学年1学級となり、本市における望ましい学級数がクリアできるものではありませんが、人数が増えることにより活動の幅が広がります。本計画P12に令和10年度の児童数の推計を記載していますが、知波田小学校の3年生が7人となり、10人を下回る学年が出てくることから、統合をしようとするものです。本計画にも記載しておりますが「小学校段階では、地域の自然・歴史・文化・産業等を北部の地域の方々から学び、豊かな体験を積み重ねることで、興味・関心の幅を広げていくことが大切である」という考えに基づき、小学校については湖西中学校を候補地として統合するという方針としました。</p>	無

No.	ページ	項目	ご意見	ご意見に対する市の考え方	計画修正
21		その他	<p>決めるなら早く決めて、移行期間にかかる子どもたちには選択できるようにするなど、移行期間の子どもたちへの対応を十分取れる期間があると良いです。</p> <p>どこの地区がどこに編入されようが、多くの方が悩んで決めたのであればそれに従いますが、個人的な意見としては、その子や親が、どこ小学校に行くのか、中学校に行くのか選択できるのが、1番よいと思います。小中学校って地元の繋がりがそこまで重要ですか？それよりも、その子にあった学びや人間関係なのではないでしょうか。</p> <p>それは義務教育ではない高校生からなのかもしれません。</p> <p>どの地区に住んでいようが、その地区に根差した小中学校で、地域との繋がりが感じられれば問題ないと思います。</p>	<p>湖西市では通学区と行政区がほぼ一致しており、学校と地域が繋がりが教育活動を行っているため、住んでいる行政区と異なる学校に通うことは、教育効果が低くなると考えます。また、自由に通学する学校を選択できるとした場合には、小規模校の児童生徒数がさらに減少する可能性があることから、適正な教育環境を維持することができなくなる場合があります。そのほか、大規模校では教室等の学校施設が不足する場合もあることから、現状の行政区による学校の指定が適当であると考えます。</p>	無
22		その他	<p>湖西市公共施設再配置個別計画では、「幼小中統合・一貫教育」が掲げられています。</p> <p>①幼稚園統合の検討は、いつされますか。</p> <p>②幼稚園を含めた一貫教育の検討は、いつまたどのようにされますか。</p>	<p>平成30年2月に策定された湖西市公共施設再配置個別計画における幼小中一貫校の案につきましては、公共施設の再配置を推進する上でのモデルプランであり、具体的な検討が進められているものではありません。急激な少子化により改めて学校規模の適正化について検討を行う必要が生じたことから、令和3年6月に学校教育施設適正化検討委員会を設置し、子どもたちにとってよりよい教育環境を充実させることを基本的な考え方として検討を行ったところであります。その後、令和5年5月に「湖西市立小中学校再編方針」を策定し、その方針に基づき、北部地区の学校再編の検討を行い、本基本計画を定めようとしているところであります。今後は、本計画に基づき小中学校の再編を行っていきますので、幼稚園の統合につきましては、現時点では検討を行う予定はありません。</p>	無
23		その他	<p>また、湖西市公共施設再配置個別計画では、「北部多目的センター」及び「はつらつセンター」の統合が掲げられています。</p> <p>①「北部多目的センター」及び「はつらつセンター」統合の検討は、いつされますか。</p> <p>②子供達が学習をするうえで、統合することがよいのでしょうか。よいとは思えません。</p>	<p>平成30年2月に策定された湖西市公共施設再配置個別計画では、湖西中学校との「複合化等検討対象施設」として「北部多目的センター」と「はつらつセンター」が挙げられていますが、本計画においては、「湖西中学校は岡崎中学校に統合し、湖西中学校の場所に東小学校と知波田小学校が統合する」という再編案としていることから、現時点では「北部多目的センター」と「はつらつセンター」の統合の検討を行う予定はありません。</p>	無